



令和5年11月

No. 122

こんにちは 豊前市議会です



東松島市議会への表敬訪問(8月25日)

CONTENTS 目次

9月定例会(8/29～9/20) 主な内容

議案の概要・特別委員会の経過報告	2～4P
令和5年9月定例会議案審議結果	5P
一般質問・その他	6～11P
トピックス・編集後記	12P

議会へのご意見をお寄せください

発行 / 豊前市議会
豊前市大字吉木955
TEL82-8137 (直通)

ホームページ/
<https://www.city.buzen.lg.jp>



議案の概要

第3回定例会

令和5年第3回定例会は、8月29日から9月20日までの23日間の会期で開催されました。本定例会には、市長より、条例案件1件、補正予算2件、決算案件9件、報告案件6件の合計18件が提出されました。それぞれ所管の常任委員会や慎重に審査した結果、原案どおり可決・認定されました。なお、議案第37号、議案第40号について反対討論がありました。

最終日には、産業建設委員会より意見書案1件が提案され、原案どおり可決されました。

また、市長より人事案件3件が提出され、原案どおり同意されました。

人権擁護委員の推薦

市長からの提案に対し、全会一致で異議なしとなりました。

■人権擁護委員

豊前市大字市丸

種田 明乗

(敬称略)

同意案件

市長からの提案に対し、全会一致で同意しました。

(敬称略)

■固定資産評価審査委員会委員

豊前市大字八屋

高瀬 忠通

■教育委員会委員

豊前市大字八屋

末岡 和美

意見書案第4号 (提出委員会:産業建設委員会)

森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書

我が国の森林は、地球温暖化防止や国土保全など、国民全体に様々な恩恵をもたらしており、これらの機能を十全に果たすための森林整備の財源として令和元年度に森林環境譲与税が創設されました。現在、管理が行き届いていない森林の整備に取り組んでいますが、所有者不明や担い手の不足等により、想定以上のコストがかかっています。また、近年多発する豪雨によって起こる土砂崩れや洪水といった下流部にも被害が及ぶ災害から国民を守るためには、様々な課題に対応した森林管理を進めていくことが必須となっています。

こうした様々な課題に早急に対応し、森林整備や担い手確保といった取組を本格化させていくには、多くの森林を抱える我が豊前市では、今の譲与基準では森林整備の費用に不足が見込まれ、さらなる財源が必要となっています。以上のことから、森林の多い市町村が必要な森林整備をより一層推進することができるよう、譲与基準の見直しについて、国へ強く要請しました。

文教厚生委員会申し入れ事項

- ◎国民健康保険税の不納欠損については、滞納者の資産状況を十分に確認し、慎重に行うこと。また、収入未済額が多額であるため、原因を十分に精査した上で、国保財政の安定化に努めること。
 - ◎各種証明書のコンビニ交付については、利用促進の観点から、一層の周知・広報に努めること。
- 以上、申し入れました。

常任委員会・議会運営委員会の委員名簿

◎……委員長 ○……副委員長

総務委員会

◎黒江哲文○平田精一・梅丸晃・村上勝二・為藤直美・内丸伸一・岡本清靖

文教厚生委員会

◎為藤直美○梅丸晃・村上勝二・秋成英人・郡司掛八千代・鎌田晃二・尾澤満治

産業建設委員会

◎秋成英人○福井昌文・梅丸晃・村上勝二・為藤直美・内丸伸一・郡司掛八千代

予算決算委員会

◎福井昌文○村上勝二・為藤直美・内丸伸一・秋成英人・郡司掛八千代

議会運営委員会

・黒江哲文・平田精一・鎌田晃二・岡本清靖

◎岡本清靖○為藤直美・梅丸晃・村上勝二・黒江哲文・鎌田晃二

住民の納得できる予算執行が
なされたか？

令和4年度

一般会計の執行状況(決算)を 2日間で慎重審査

9月定例会では、予算決算委員会で、一般会計の決算状況について審査を行いました。

委員会は、9月14日～15日の2日間にわたり開催し、令和4年度の一般会計予算が適正かつ効果的に執行されたかどうかの審査を行いました。委員会では執行部に対して多くの質問や指摘がなされました。

《令和5年度一般会計補正予算の概要》

【議案第38号】 令和5年度豊前市一般会計補正予算(第3号)

国庫補助事業及び県補助事業にかかる経費、その他特に措置する必要がある経費について、可決しました。

《主な事業》

◇シティプロモーション業務等委託料	5,000千円
◇保育所等物価高騰対策費補助金	841千円
◇母子父子福祉費	4,130千円
◇環境衛生費	251千円
◇農業一般単独事業	5,164千円
◇道路補修費	3,000千円
◇農業用施設災害復旧費	134,600千円
◇林業施設災害復旧費	15,455千円
◇土木施設災害復旧費	49,148千円

予算決算委員会申し入れ事項

各公共施設の管理運営費の抜本的な見直しや、市税等の徴収率向上により、財源の確保に努めること。

以上、申し入れました。

第19回新型コロナウイルス対策特別委員会の経過報告

特別委員会は、8月29日に開催され、執行部より、新型コロナウイルスワクチン接種について説明がありました。主なものは以下のとおりです。

◎令和5年度 新型コロナワクチン接種について

(春接種の状況)

①65歳以上

(接種期間:令和5年5月8日～9月19日)

接種券送付人数 (オミクロン2価ワクチン接種済者)	接種者	接種率
7,420人	5,884人	約79.3%

②65歳未満(基礎疾患を有する者・医療介護等従事者等)

接種者:1,090人

(秋接種)

- ・対象者:生後6か月以上の者(初回接種も接種可能)
- ・接種期間:令和5年9月20日～令和6年3月31日まで
- ・接種券:春開始接種の接種日の早い方から順次発送
- ・スケジュール:集団接種9月30日～11月上旬予定



◎委員より出た意見

- ・ワクチンは、オミクロン株対応だが変異株が出てきている。オミクロン株のものでいいのか、違うものになっているのか、情報を把握しているか。
- ・ファイザー社とモデルナ社のワクチンがあるが、接種の選択はできるのか。
- ・接種率が下がると在庫を抱えることになるので、しっかりとワクチン接種の通知をお願いする。

新型コロナウイルス対策特別委員会 ◎…委員長 ○…副委員長
◎為藤直美 ○村上勝二 内丸伸一・黒江哲文・鎌田晃二・尾澤満治

豊前開発環境エネルギー株式会社調査特別委員会の経過報告

特別委員会は、豊前市が出資している第3セクター「豊前開発環境エネルギー株式会社」役員が有印文書偽造により逮捕された事件について、会社の事業内容や事件発生の経緯を調査するものです。委員会の内容は、以下のとおりです。

第9回(9月20日開催)

委員から提出された豊前開発環境エネルギー株式会社に関する資料について、執行部に事実確認を行いました。また、執行部からは前回会議から現在までの同社とのやり取りについて報告を受け、要求文書が全て提出されていないこと、株主総会の開催要求が受け入れられていないことを確認しました。

委員からは、当事者である同社から話を聞くべきとの意見が出され、同社社長及び専務の委員会出席を求めることになりました。

豊前開発環境エネルギー株式会社調査特別委員会 ◎…委員長 ○…副委員長
◎尾澤満治 ○平田精一 梅丸晃・村上勝二・内丸伸一・郡司掛八千代・岡本清靖

令和5年9月定例会 議案審議結果

「○」…… 賛成 「●」…… 反対
 「議長」… 議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	梅丸	村上	為藤	内丸	秋成	郡司	黒江	平田	福井	鎌田	岡本	尾澤	賛成	反対
			晃	勝二	直美	伸一	英人	八千代	哲文	精一	昌文	晃二	清靖	満治		
議案第37号	豊前市印鑑条例の一部改正について	原案可決	○	●	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	議長	9	1
議案第38号	令和5年度豊前市一般会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	議長	10	0
議案第39号	令和5年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	議長	10	0
議案第40号	令和4年度豊前市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	●	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	議長	9	1
議案第41号	令和4年度豊前市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	議長	10	0
議案第42号	令和4年度豊前市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	議長	10	0
議案第43号	令和4年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	議長	10	0
議案第44号	令和4年度豊前市営駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	議長	10	0
議案第45号	令和4年度豊前市バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	議長	10	0
議案第46号	令和4年度豊前市水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	議長	10	0
議案第47号	令和4年度豊前市公共下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	議長	10	0
議案第48号	令和4年度豊前市東部地区工業用水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	議長	10	0
意見書案第4号	森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書について	原案可決	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	議長	10	0
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	議長	10	0
同意案第4号	豊前市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	議長	10	0
同意案第5号	豊前市教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	議長	10	0



議長
尾澤 満治



副議長
郡司掛 八千代

議会からのお知らせ

議事運営上

議長・副議長は、原則として一般質問を行いません。

一般質問

そこが聞きたい
なんとかかしたい

『平成会』の一般質問



鎌田 晃二



福井 昌文



平田 精一



黒江 哲文



内丸 伸一



秋成 英人

【質問項目】

(秋成英人議員)

① 広域行政の在り方

② 災害時の対応 ③ DX化

(福井昌文議員)

④ 豊前市の課題

(平田精一議員)

⑤ 防災対策と今後の一次産業

(内丸伸一議員)

⑥ 豊前市の未来

(鎌田晃二議員)

⑦ 不登校・引きこもり対策

⑧ 保育の諸問題 ⑨ 特定健診

⑩ くらしのサポーター

※ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。

※文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。

詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いてありますので、お気軽にご覧ください。

市議会会議録はこちらから

豊前市議会 検索

広域行政の在り方について

秋成議員 近隣自治体との共存・共栄のため、広域行政について考えていか

なければならぬ時期にきており、より一段踏み込んだ広域的政策を進めていく段階にきていると感じる。老朽化など、維持が大きな課題となっている公共施設についても、広域で役割を分担し、近隣住民と共有しながら維持していくという考え方を検討すべきではないかと思う。例えば、豊前市民プールについて、広域での利用を促すべく、営業期間の延長を提案する。残暑という言葉の意味が分からなくなるくらい9月といえども夏日が続いている。市民プールの営業期間を延長し、学校の授業で使えるようにすると共に、公営プールがない自治体の学校へ、利用を促すことはできないか。

教育部長 市民プールの運営で、一番困っているのが老朽化した機械等のメンテナンス、また監視人の確保が課題であり、その目途

が立てば可能だと考える。ただ、夏休み以外は土日しかお客さんが来ないため、学校の授業と一般開放をセットで運営するのがベストだと思うので勉強したい。

秋成議員 プールの営業期間は夏休み期間中というの、我々が思い込んでいただけで、変更の余地があると思う。ぜひ来夏に備え、前向きに検討していただきたい。先日、上毛町のループアリーナのオープニングセレモニーがあったが、定住自立圏の住民は、上毛町民と同額での利用が可能である。既に隣町ではそういった考えを一部取り入れるということを感じているが、広域的な取り組みについての会議等はどのように行われているのか。

総合政策課長 九州周防灘定住自立圏は、構成自治体のスポーツ施設について利用基準の平準化や大規模スポーツ大会の共同開催など、各市町の施設の利用促進を図っている。

秋成議員 豊前市としての広域行政の基礎は、豊築地域であると考えている。今後の広域行政の推進についてどのように取り組まれるか、市長の考えを聞きたい。

市長 単独でやるのは難しい時代になってきており、地域が連帯して得意な分野をお互いに提供し合うことは、非常に大事なことでと思う。豊築地域として正式なまちでは、京築の2市5町では、みらい会議というものをづくっており、勉強会や情報交換をしているのが現状である。私たちが賄えない部分は使わせていただければと思っている。

秋成議員 私は何度も広域行政の重要性・必要性について言ってきたが、なかなか進展が見られない。市長には、広域行政の推進について、いま一度しっかりと考えていただきたいと思います。



豊前市の課題について

福井議員 地球温暖化に伴う地球規模での気候変化により、世界的に水関連の水害が年々深刻さを増しており、日本においても毎年のように大規模な災害が発生している。幸いにも豊前市では人的被害は発生していないが、道路の冠水や河川の氾濫、床下浸水などにより、市民の生活に多大な影響が出ており、7月10日には線状降水帯により集中豪雨となり、過去にない川の氾濫、道路の冠水に驚かされた。そのようなか、消防団の姿が見受けられず、知り合いの分団長に尋ねたところ、市からの要請がないとのことであつた。なぜ要請しなかったのか理由を尋ねる。

総務課長 雨が激しい状況での要請は事故が懸念されることから、消防団の本部からも小規模状態になった折に各分団に巡回するように指示をしてもらつた。

福井議員 小・中学校の登校の対応はどのようにしていたのか。

学校教育課長 一律に臨時休校を行うのではなく、登下校の安全面を総合的に考えて、学校ごとに登下校時刻を遅らせるなどの対応をとつた。

福井議員 休校にしなかつたということだが、学校の対応と消防団への対応には少し矛盾があるように思うが市長の考えを。

市長 消防団の皆さんともこの経験を踏まえて、より良くなるための経験として勉強していかねばと思つている。

福井議員 今後の災害時に至っては、市民の安心・安全の確保に努めてもらいたいと思う。次に、大雨のたびに過去幾度となくアンダーパスを通行止めにし、能徳工業団地を利用する方々に大変迷惑を掛けていている。臨海工業線の新設が急務だと考えるが執行部の意見を聞きたい。

都市住宅課長 臨海工業線は、能徳工業団地へのアクセス強化や、渋滞解消、アンダーパス冠水時の代替路線として整備が望まれる

が、多額の予算が掛かる。そのため、県による事業化を幾度となく要望しているが、前向きに進んでいない状況である。今後も県での事業化を粘り強く要望していきたいと考えている。

福井議員 現在、渋滞解消のため中畑八屋線の工事を行っているが、臨海工業線は必ず通すべきだと思ふ。異常気象の今だからこそ必要だと思ふ。課題の優先順位はあると思ふが、能徳工業団地に入りにして約2,000人の方たちの生命・財産を守るようにお願いする。そして近年、想定外という言葉をよく耳にするが、様々な可能性を想定して、住民の生命・財産を守るのが市の責務だと考える。そのためにも、臨海工業線の早期実現に向け、積極的に取り組んでいただくようお願いする。最後に、少しでも豊前市の市政発展に貢献できるよう、職員の方々と共に力を合わせて頑張っていきたいと思ふ。

平田議員 7月10日に起きた集中豪雨被害について、災害状況を伺う。

総務課長 店舗、住宅などへの床上・床下浸水は、それぞれ3件、住宅敷地内への雨水・土砂等の流入を50件ほど確認している。

建設課長 農業施設関係が177件、水路と井堰の土砂の堆積が主なものである。道路・河川関係では19件、河川の護岸、道路のり面の崩落等が主なものである。

農林水産課長 水稲被害が8カ所、野菜の被害は3カ所、有害鳥獣進入防止柵の河川氾濫等による流出が5カ所であった。

平田議員 私も後で水路を見て回つたが、本日に建設課の対応が早く、また、建設業の方も、すぐに来て、水を通していただいた。7月は、稲作で一番大切な時期であり、本当に感謝申し上げる。そこで、建設課の職員が頑張つているときに、建設課を経験した職員を臨時に配置するなど、全庁挙げて対応する

防災対策と今後の二次産業について

る態勢が作れなかつたのか。

総務部長 短期間で集中的にということになれば、技術職を中心に回すことは考えられるので、所管課と話をしていきたいと思ふ。

麦・大豆等を生産する農業者を直接支援するものである。令和4年度から基準が厳格化し、今後5年間に1度も水稲の作付けが行われない農地は、交付金の対象とみなさない方針が出された。

平田議員 せっかく部長制を敷いているので、横の連絡だけは、しっかりやっていた方がいい。今回の豪雨災害では、復旧できない水田ができたと思ふが、そういう所は耕作放棄地になる可能性がある。耕作放棄地を増やさないために、稲作から転作作物にかえるべき時期がきたと感じる。いま国が水を張らない水田に対して補助対象外にするという見直しを行っているみたいだが、どういった趣旨で行われているのか伺う。

農林水産課長 水田活用直接支払交付金のことと思われる。この交付金は、米の需要が減少する中、生産抑制するための転作を促すため、水田を活用して、

農林水産課長 水稲被害が8カ所、野菜の被害は3カ所、有害鳥獣進入防止柵の河川氾濫等による流出が5カ所であった。

農林水産課長 農政連等を通じて要望等は出している。

平田議員 しっかりと連絡を取りながら、再度、陳情を出していただきたい。豊前市にも、若者が頑張つて農業をやっているグループがたくさんある。その人たちの士気を落とさないようにしっかりとやっていただきたい。

平田議員 若者が一生懸命頑張つて野菜を作っているのに、補助金の対象外になると、収入減になり、働く意欲が落ちて耕作放棄地が増えると思ふので、水張りができる場所もある程度は考慮してやっていただきたい。国に対し陳情に行つているのか。

豊前市の未来について

内丸議員 ことし2月に宇島地区で起きた火災を受け、3月議会で新たな防災計画の作成を提案した。答弁では、地域と連携し、

地区防災計画の策定を進めているということであつたが、進捗状況はどうなっているか。

総務課長 令和4年度までに6地区で策定済、令和5年度は、2地区と話をしている。

内丸議員 糸魚川火災の後、全国各地で消防能力の見直しが行われているようだが、豊前市は何かアクションをしたか。

総務課長 特別にということはないが、毎年資機材等の予算を計上し、各分団の要望もいただき、整備に努めている。消防車両の更新についても、計画的に進めると同時に、消火栓、防火水槽などの消防施設についても、計画的に整備を図っているところである。消火能力については、資機材、消防施設あるいは消防車両だけでなく、消火技術等も含まれていると思うの

で、消防団の要望も踏まえ、消防本部とも連携し、様々な訓練を実施することで、技術の向上にも努めていただいている。

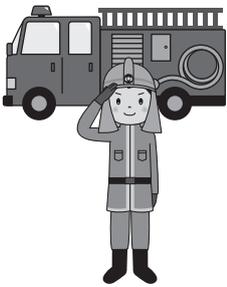
内丸議員 京築広域圏消防本部でも、人員不足や使用車両の老朽化等に悩んでおり、救急搬送中にトラブル発生や消防車のトラブルで消火活動に支障が出たり、人員が不足しているため無理な勤務になり、いざという時に最高のパフォーマンスができなかつたり、ミスを起こしたり、けがをしかねない状況が慢性化しているようである。豊前市民の生命財産を守る消防署員が、有事に最高のパフォーマンスを発揮できるような環境をつくり、人員増、車両の更新など、組合議会上に豊前市の考えとしてしっかり訴えていただきたい。

6月議会の一般質問で、豪雨発生時の小・中学校の登下校のルールを設定するよう提案したが、7月10日の豪雨では、子どもの命のことを考えれば、小学校

は休校もしくは11時頃から小康状態になるとの予報から、午後からの登校、給食のことも考えるなら正午頃の登校のほうが良かったと思うが、このことについて、市長は、どのように考えているか。

市長 学校現場で子どもたち一人一人の情報がある学校長の判断も大事にしながら、この経験を教訓とし、より安全で子どもの命を最優先に守り、また休ませればしわ寄せも来るといふところも考慮し、判断をしていくことになると思う。

内丸議員 生徒が登校するならば、それに併せて消防団が見守り、災害を未然に防ぐということも可能だった。豪雨や台風、各種災害発生時には、児童・生徒の安全を最優先に考えて被災しない方法をルーラル化し、事故のないよう対応していただきたい。



くらしのサポーターについて・特定健診について

鎌田議員 千束の地域づくり協議会の健康福祉部会で協議した、2点の内容について質問する。1つ目がくらしのサポーターというところで、そよかせの会サポーター募集というチラシをもらった。くらしのサポーター・そよかせの会とは、高齢者の日常生活の困りごとをお手伝いする有償ボランティアである。この立ち上げの経緯とこれからの展望を聞きたい。

健康長寿推進課長 この事業は昨年度からスタートし、今年の7月から運用している。現在、サポーターは9名おり、毎年10名程度増やしていこうと考えている。社会福祉協議会がリーダーとして、地域包括支援センターなどがコーディネートとしてかかわっている。今年も力を入れて進めていく。

鎌田議員 募集の経緯には、ホームヘルパー不足もあるように思う。ホームヘルパーの人数については、コロナ前から仕事が大変

な割には給料が安いということでも減っており、深刻な人手不足が続いているようである。豊前市でも人員確保が難しい状況にあり、社会福祉協議会も以前は、ヘルパーの事業をやっていたがやめている。その経緯を教えてください。

健康長寿推進課長 以前、社協が訪問介護事業をしていたが、令和3年12月末で廃止している。人材確保の問題が大きな原因と聞いている。

鎌田議員 現状、ホームヘルパーの多くが中高年以上の年代になり、今後、やめていく人が多くなると、ますます人手不足になると思う。その対応の一つが、このくらしのサポーターだと私は思っており、大いに期待している。豊前市の訪問介護事業が崩壊を招かないように、こういったサポート事業も知恵を出して、これから頑張っていたいただきたいと思う。

最後に、特定健診について質問する。豊前市は、1

人当たりの医療費が高く、国保の保険料を上げていくのは限界が来ており、医療費を適正にするしかない。特に、病気の重症化により多額の治療費が掛かるため、早期に特定健診等で発見することが重要である。なかなか受診率は上がらないが、いろんな取り組みをしていかなければいけないと思う。みなし健診も有用であると考え、受診券を対象者全員に送るなどの細かい対応で、受診率が上がるようにしていただきたいと思うが、この健診の受診率向上と1人当たりの医療費の適正化について、市長に答弁を求めたい。

市長 市民の健康と健康長寿を目指すことは、我々にとって必要な使命である。防災無線などを通じて、きめ細かく情報が伝わり、そして速やかに、あまりお金を掛けずに配れるような、そういう態勢を整えていきたいと思う。

一般質問

そこが聞きたい
なんとかかしたい

『無党派』の一般質問

【質問項目】

(村上勝二議員)

① マイナンバー法改定

【質問項目】

(梅丸晃議員)

① アウトドア観光案内所設置

② 豊前市手話言語条例

【質問項目】

(為藤直美議員)

① 一般質問のその後の対応

② こどもまんなか社会の実現に向けて

③ スポーツ施設等の環境整備と交流人口

※ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。
※文末の表記については、実際のやり取りとは異なり、「です・ます調」ではなく、「だ・である調」に統一しております。
詳細については、市のホームページに全文を掲載しておりますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご閲覧ください。

【質問項目】

(岡本清晴議員)

① 市バスと学校再編の関係

② 7月の豪雨

市議会会議録はこちらから

豊前市議会

検索

マイナンバー法改定について



村上 勝二

村上議員 マイナンバーカードによる健康保険証の紐付け誤りや公金受取口座の誤登録など、問題が相次いで起きている。来年秋の紙の健康保険証廃止への対応で岸田首相は、全

ての国民が円滑に医療を受けられるよう、マイナ保険証を持たない全員に資格確認書を送付すると宣言した。マイナカードの返納者は保険証の紐付けが解除されず、資格確認書が送付されないのではないかと、マイナカードを申請できない高齢者・障がい者を中心に無保険状態に陥る国民が続出するのではないかと。保険証難民という言葉も出ているが、決して許されないことだと思つた。豊前市では何人が無保険者になるのか、お聞きする。

市民課長 国の方針とし

てマイナカードを持っていない方、保険証と紐付けをしていない方、再発行の方へ資格確認書を職権で送付することになっている。今までも変わりなく保険診療を受けられるため、無保険はないと思う。
村上議員 もし、資格確認証が届かなかつた場合、無保険者となり医療機関の受診時に10割負担となるのではないかと。これは国民生活に深刻な影響を与え、国民の権利が侵害されると思うが、いかがか。
市民課長 今のところ国・政府は無保険で10割負担は考えていない。
村上議員 マイナカードを国民に押し付け、マイナンバーに何でも紐付けするのは日本だけ。財界は事業者が持つ個人データのIDをマイナンバーにして官民間問わず広く流通すべきと求めているが、個人情報が必要で民間で流通すると思つと背筋が寒くなる。また、自治体を持つデータを活用し医療DXにも期待を寄せているが、マイナ

バー創設のきっかけが医療・介護費の削減であったことを忘れてはならない。河野デジタル大臣が言う「行かない窓口」「書かない窓口」は、自治体DXにより対面での窓口対応の削減が想定されるが、住民の命と暮らしを守る自治体本来の機能を投げ捨てることであってはならない。財界や政府の勝手な思惑でマイナンバー制度が揺らぎ漂流しているからこそ、デジタルの便利さもアナログのぬくもりも兼ね備えた国民主役のデジタル社会を実現しようではないかと。マイナカードの強制に反対、国民の多数が反対する保険証の廃止は撤回・中止を求めるが、市長の考えをお聞きする。

市長 国民皆保険制度があるのは日本だけで、その特性をいかして本来に必要なサービスに人を配置するためデジタル化が必要である。デジタル化で削減できるところはそうすべきだと思う。



アウトドア観光案内所設置について



梅丸 晃

上につながるなど、拠点施設として有意義なご提案である。関係者と内容を精査し、検討したいと思う。

梅丸議員 海も山もある自然豊かな豊前市でどのような体験・遊びを情報提供できるのか。また、市が持っている資源の活用をいま一度、見直していかねればと考える。そこで、菩提山周辺にアウトドア観光や初めて訪れる方に向け、アクティビティ・遊びの情報提供、ガイドボランティアの受付等を行うアウトドア観光案内所の設置を提案する。これは地域住民にも多くの利益をもたらす重要な施設となり、地域資源の保護と訪れる方の満足度向上のために情報提供とサポートを行うことができると思うが、いかがか。

商工観光課長 観光や地域資源の情報強化、情報提供の強化に加えて、ガイドやナビゲーション支援など、安全やリスク管理の向

梅丸議員 これが実現すれば訪れる方のキテンとなり宇島駅や道の駅の観光案内所との連動ができ、点と点を線で結びエリアとして、観光案内することが可能である。観光協会内の職員も、案内所の設置を望み熱意を持って取り組もうとしている方がいる。市長の考えをお聞きする。

市長 求菩提の歴史、自然を伝えることができる人材を案内所のスタッフとすることは、非常に魅力であると思う。担当課も必要だと認めており、豊前の素晴らしい資産をいかしていくために必要な場所であると認識している。今後検討したいと思う。

梅丸議員 次に豊前市に来ていただく仕掛けづくりとして、各アクティビティを組み合わせ、商品化し観光として売り出すことも必要だと考える。テントサウナと森林セラピー、

登山とキャンプなど豊前市の特性やニーズに応じた多様なバリエーションを考え、自然環境やアクティビティを最大限に楽しむための準備と経験をサポートすることになる。これにより滞在時間が延び、経済効果が生まれ、都会では味わえない強みになると思うが、いかがか。

商工観光課長 商品化に際しては、市場調査や競合の分析を行い、旅行者のニーズにあわせた魅力的なパッケージ化を検討することが重要であり、情報発信の窓口になる拠点も必要であると考える。案内所の設置と共に、今後協議を進めていきたいと思う。

梅丸議員 豊前市にある資源を最大限に有効活用する観光案内所としてアクティビティのパッケージ化、商品化によるソフト面の充実こそが必要と考える。その実行と予算措置をお願いする。

スポーツ施設等の環境整備と交流人口について



為藤 直美

の企業に広告をもらうなど、いろんな考えを出してもらいたい。

為藤議員 市内のスポーツ施設は多くの経費が掛かっているが、市民サービスとしてスポーツの振興が必要とされる部分が多いと思う。地元企業などにネーミングライツの契約の方法や民間委託などの考えを、市長に伺いたい。

次に、天地山公園については、上まで登ることが面倒であるという意見が多く、電動キックボードの導入、高齢者にはゴルフカートのようなかたちの利用なども考えられるが、天地山公園の運営について、今後どのような考えがあるのか、伺いたい。

市長 豊前市で利用料を含めて維持・管理するのは非常に厳しい状況である。そこで民間とどのような施設を活用していくのか、真剣に考えていかねければならないと思う。民間の力を導入する、その一つの方法としてネーミングライツがある。豊前体育館や球場の標示を申し入れたが、応じていただいている状況ではない。

為藤議員 ネーミングライツ契約となると大口になる。難しいことは承知しているが、小分けして多く

公園における民間資金を活用した、新たな整備・管理手法について、現在研究している。より良い天地山公園になるように研究していきたいと考えている。

為藤議員 今後増える老朽化施設の管理状況や費用対効果を考え、アウトソーシングしてスリム化することを願う。最後にスポーツ施設の民間委託など施設の環境整備に関して、スポーツのまちを目指す豊前を考えるために、市長に伺いたい。

市長 民間の力を借りながら稼げる公園として変換していくのも一つの方法ではないかと思うので、研究していきたい。

為藤議員 健康で子育てしたいまちづくり、スポーツのまちを目指して豊前市を前向きに明るく元気なまちになるよう、お願いする。



市バスと学校再編の関係について



岡本 清靖

岡本議員 市バスの運行について、いま利用者が少ない中、毎日運行しており市民の方々は大変助かっていると思うが、赤字を一般会計から補てんするといった経営状況である。現在、市バスは何台あるのか、その稼働状況をお聞きます。

生活環境課長 定期便では岩屋線3台・櫛狩屋線、畑線、轟線で各1台が運行し、車検や3か月毎の定期点検、故障時のための予備車を保有している。合計10台ある。

岡本議員 古くて走行距離が長いバスがあり、運転手の中には、点検はしているが途中で故障するかもと、不安な気持ちで運転している方がいるようだ。やはり余裕を持って運転し、安全運行に努めてもらう事が大事だと思う。市バス

の買い替えだが、今後の学校再編によるスクールバスとの両立を含め、どう考えているのか、お聞きする。

生活環境課長 学校再編に伴いスクールバスの運用方法も一緒に検討している。補助金で買うのか起債を借りるのか、効率的に車両を買い替えられるよう、教育委員会等と協議し計画的に更新していきたい。

岡本議員 市民に有効利用してもらい、市民の足を守るために市バスが無くなったら困る。今後はバスの買い替えもあり経費がかかると思うが、今のダイヤで利用が少ない便は本数を減らし、経費削減すべきだと考える。今後の市バスについて、市がするのか、タクシー会社など民間に委託するのか、どう維持していくのかが一番の課題だと思う。学校再編も併せて考えをお聞きます。

総務部長 学校再編では部会で協議しており今後、ルート等が決まってくる。その後、必要台数やバスの

更新など協議していく。

教育部長 現在、合岩小・中学校は市バスを活用して通学している。今後、再編に伴う関係はスクールバスを予定していて、文科省の補助対象になるよう導入を考えている。また、市バスが空いたときに使う場合は運輸局の許可が必要で、生徒が使う時間帯と市民が使う時間帯が集中しているため、うまく市バスを活用できるかどうかは今後の計画や状況によるかと考える。

岡本議員 これから、市バスとスクールバスを有効利用するために協議しながら、お互いが両立できるようにしてもらいたい。それにより、市バスがそんなに要らない場合は台数を減らして経費削減を行うなど、効率的な運営をお願いする。



第14回福岡県市議会議長会議員研修会 2040未来ビジョン出前セミナーIN久留米



議員研修会の様子

令和5年7月31日に久留米シティプラザで開催された、福岡県市議会議長会議員研修会に参加しました。初めに河村和徳氏による「地方議会の役割と議会改革～これまでの10年とこれからの10年～」、次に堀口正裕氏による「移住・関係人口につながる場作りと情報発信のポイント」について研修を受けました。

今回学んだことを、今後の議会活動や政策提言にいかしたいと思います。

東松島市議会に表敬訪問と夏まつり参加



東松島夏まつりの様子

令和5年8月25日～27日の日程で、復興支援・政策推進特別委員会で、「豊前海一粒かき」の稚貝の生産地であり、東日本大震災発生後から支援交流を続け、友好都市提携を結んでいる宮城県東松島市議会への表敬訪問と震災復興遺構の視察を行いました。

また、夏まつりに参加し、会場ブースでは、豊前市の特産品を販売し、完売することができました。なお、この売上金は、全額、東松島市に寄附されました。

第9回 議会報告会を開催します!!

本会議や委員会での審議報告に加えて、身近な地域の課題などについて意見交換をします。皆様のご参加をお待ちしております。

日程	時間	地区	会場
11月 7日(火)	午後7時～	角田・山田	山田公民館
11月 8日(水)	午後7時～	八屋・大村・宇島	総合福祉センター(2階)
11月 9日(木)	午後7時～	横武・合河・岩屋	岩屋公民館
11月11日(土)	午前10時～	三毛門・黒土・千束	市役所大会議室(3階)

※地区毎に分けておりますが、どの会場にもご参加できます。(議会報告会の時間は1時間30分程度です。)
※各地区、地元議員を中心に班編成して参加します。

編集後記

市民の皆様、こんにちは。毎日いかがお過ごしでしょうか。

今年は、近年の傾向通り、早い時期から台風が襲来しましたが、大きな被害をもたらす9月の台風の発生がなく、「安心・安全なまち豊前市」としては、幸いなことでした。

これからも「安心・安全なまち豊前市」の実現に向けて、市民の皆様、市執行部、議会が連携を強化し、課題を解決して行きましょう。

議会活動に対しましても、議会の傍聴やインターネット中継をご覧になり、市政発展のためのご意見をお願いし、市民皆様の今後のご活躍とご健勝を祈念いたします。

秋成 英人

次回の定例市議会は
12月です

議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。みなさんの傍聴をお待ちしています。また、本会議については、インターネット中継をしております。

- 編集 編集委員会
委員長：梅丸晃
副委員長：為藤直美
委員：村上勝二 郡司掛八千代
秋成英人

- 印刷 築上印刷有限公司